

令和2年 4月 8日

保護者の皆様

# 相談室だより

榎原中学校スクールカウンセラー 河合 弘靖



生徒の皆さんへ

引き続き榎原中学校のスクールカウンセラーを担当することになりました<sup>かわい ひろやす</sup>河合 弘靖 です。皆さんは、新学期を迎えて元気に学校生活を送っていることと思いますが、何か悩んでいることや不安に思っていること、気になることなどがあれば、一人で悩まずに私と一緒に話しませんか？

保護者の皆様へ

引き続き榎原中学校のスクールカウンセラーを担当することになりました 河合 弘靖 です。スクールカウンセラーは、皆さんの悩みや心配ごと、子どもへの対応や学校生活のことなどで、何かお困りのことがあれば、お話をお聴きし一緒に考えていく心の専門家です。一人で問題を抱え込まず、気軽にスクールカウンセリングを利用してください。

## ※ 相談室(カウンセリングルーム)の利用について

★ 4月～7月のスクールカウンセラーの来校日（木曜日、原則として、9:30～18:00）。

4月16日、23日、30日

5月7日、14日、21日、28日

6月4日、11日、18日、25日

7月2日、9日、16日

### 生徒の皆さんの相談内容の例

- 学校やクラスになじめない、勉強や進学のことなど、学校のこと。
- 友達とうまくいかない、人と話することが苦手など、対人関係。
- お母さん、お父さん、兄弟とうまくいかないなど、家庭のこと。

★ 相談の申し込み方法 ※8月以降の予定は、次回以降の「相談室だより」でお知らせします

- ・ 担任の先生、または他の先生を通じて申し込む（先生からカウンセラーに伝わります）。
- ・ 榎原中学校（TEL:392-6630）に電話して「スクールカウンセラーに相談したい。」と伝える。
- ・ 相談室を訪れてカウンセラーに直接申し込む。
- ・ 自由来室：木曜日の昼休みに気軽に相談室をのぞいてみてください。
- ・ 相談室は、南校舎1階図書室南隣です。

※ 相談された内容は外部に漏れることはありません。ただし、命に関わる場合や、身の危険がある場合、緊急を要する場合などはその限りではありません。ご了承ください。

# 「思春期の特徴と対応について(1)」令和2年度 回覧①

本年度は、「思春期の特徴と対応について」というテーマで3回(令和2年度4月、8月、1月)に分けて、これまでの知見やスクールカウンセラーとして気付いたことなどを述べさせていただきます

## 1. 思春期前期(中学生)の発達課題

- (1) 人間としての生き方を踏まえ、自らの個性や適性を探求する経験を通して自己を見つめ、自らの課題と正面から向き合い、自己の在り方を思考すること。
- (2) 社会の一員として他者と協力し、自立した生活を営む力の育成。
- (3) 法や決まりの意義の理解や公德心(社会性における道德を守る気持ち)の自覚。

## 2. 中1ギャップ

- ・ 中1ギャップとは、小学生から中学1年生になった途端、学習や生活の変化になじめず、不適応状態になり、不登校になったり、いじめが急増したりする現象をいいます。
- ・ ギャップの典型例は、コミュニケーションが苦手な子どもが小学校時代の友だちや教師の支えを失うことから生じる、「喪失不安増大型」と、小学校ではリーダーとして活躍していた生徒が中学校では活躍の場を失ってしまう「自己発揮機会喪失型」の2つが考えられます。
- ・ 学習面でつまずく子どもが、中学1年生で急増します。小学校とは違う教科担任制になじめない子どももいます。

## 3. 思春期と攻撃性

- ・ 中学生時代は意識的であれ、無意識的であれ、自らの攻撃生徒の戦いの日々です。
- ・ 攻撃性という悪い響きに聞こえるかもしれませんが、攻撃本能があるから競争が生まれ、人に負けたくないと頑張ることができるのです。
- ・ 問題となるのは、言葉や暴力、態度を用いて人を傷つけてしまう子どもがいるということです。

## 4. 反抗期と心理的な離乳

- ・ 第一次反抗期は、2、3歳頃に意思が芽生え、自我感情が発達し、他人の指示を拒否し反対行動をする場合をいいます。
- ・ 第二次反抗期は、思春期前期(中学生)に自我感情が特に強く意識され、それが行動面では犯行として現れる場合をいいます。
- ・ 心理的な離乳は、思春期において生じる、家族からの精神的分離、自立を示す概念です。

※ 子どもが朝学校へ行くのを渋ったり、登校前になると腹痛や頭痛を訴えたり、子どもの様子が変わるなど思ったりしたら、一人で悩まず気軽に相談してください。次回(8月の「相談室だより」)へ続く…。